



吉川和夫 | 個展

～ アンティフォニー 呼びかわす つながり 響きあうために ～

Antiphony

作曲家 | 吉川和夫 KIKKAWA Kazuo



東京芸術大学大学院修了。室内楽曲、室内オペラ、合唱劇などを中心に作曲活動を展開。1987年、萩京子、寺嶋陸也とともに作曲家グループ「緋国民楽派」を立ち上げる。1996年、NHKオーディオドラマ『ソフィーの世界』の音楽で放送文化基金賞(音楽・音声・音響効果賞)受賞。近作には合唱劇「銀河鉄道の夜」、「オツベルと象」、長田弘の詩による無伴奏女声合唱曲など。仙台クラシックフェスティバルで開催している「せんくら・うた劇場」は、毎年好評を博している。CDには「魂の行方 吉川和夫作品集」(フォンテック)、竹田恵子オペラひとりっ切り「にごりえ」(ALM)など。宮城教育大学教授。

吉川和夫 個展

アンティフォニー

呼びかわす

つながり

響きあうために

Antiphony

2020年 3月27日(金) 18:30 開場
19:00 開演

宮城野区文化センター PaToNaホール

〔 JR仙石線「陸前原ノ町」駅下車徒歩1分・仙台市バス「宮城野区役所」下車徒歩2分 〕

※来就学のお子様のご入場はご遠慮ください。※会場までは公共交通機関をご利用ください。



出演

オーボエ 西沢 澄博
クラリネット 日比野 裕幸
ファゴット 水野 一英
ピアノ 倉戸 テル 庄司 美知子
ヴァイオリン 郷古 廉
チェロ 三宅 進
コントラバス 名和 俊

曲目

吉川和夫 作曲

アンティフォニーⅠ (1995) オーボエ、クラリネット、ファゴット、ピアノのための
アランおじさんの小舟 (1985/2020改訂) ピアノのための
アンティフォニーⅡ (1997) チェロとコントラバスのための
Moment of Silence for 2011.3.11 (2011) ピアノ連弾のための
ソナタ風幻想曲「SANRIKU」(2014) ヴァイオリンとピアノのための
アンティフォニーⅧ「星降る夜の記憶」(2019)
オーボエ、ヴァイオリン、チェロ、コントラバスのための

チケット 全席自由 一般:3,500円 U-23:2,500円(23歳以下) U-15:1,000円(15歳以下)

プレイガイド チケットぴあ(Pコード175-653)、宮城野区文化センター、藤崎、ヤマハミュージック仙台店、カワイ仙台、銀座山野楽器仙台店 2F 弦楽器フロア

主催 / 吉川和夫個展実行委員会

後援 / 宮城教育大学音楽教育講座、萩音会、公益財団法人仙台市民文化事業団、河北新報社

制作協力 / お問合せ

HAL PLANNING 022-262-1682 (平日10:00~18:00)

オーボエ

西沢 澄博

NISHIZAWA Kiyohiro



東京音楽大学卒業。オーボエを宮本文昭、安原理喜の両氏に師事。アフィニス夏の音楽祭においてV.シュトルツェンベルガー、K.クリュスの各氏の指導を受ける。2000年東京文化会館新進音楽家デビューオーディションに合格し、同ガラコンサートに出演。現在仙台フィルハーモニー管弦楽団首席オーボエ奏者。宮城学院女子大学音楽科非常勤講師。Music from PaToNaプランナー。

クラリネット

日比野 裕幸

HIBINO Hiroyuki



東京芸術大学を卒業後、ウィーン国立音楽大学にて学ぶ。1991年仙台フィルハーモニー管弦楽団入団。同団の定期演奏会やアンサンブル金沢の定期演奏会にもソリストとして出演。小澤征爾音楽塾の講師として演奏参加、また宮崎国際音楽祭にも出演。2011年3月仙台フィルを退団、4月より宮城教育大学教授に就任。東京クラリネットフィルハーモニー(TCP)、Orchla木管五重奏団など室内楽でも活躍している。

ファゴット

水野 一英

MIZUNO Kazuhide



東京芸術大学卒業。ファゴットを故・伊達博、岡崎耕治の両氏に、室内楽を中川良平、村井祐児、海鋒正毅の各氏に師事。また、アフィニス夏の音楽祭に参加、D・イェンセン、H・ラビーン、H・デネヴェーク氏等の指導を受ける。1987年東京文化会館推薦新人演奏会出演。第9回日本管打楽器コンクールファゴット部門第4位入賞。1990年から仙台フィルハーモニー管弦楽団ファゴット奏者となり、現在首席奏者。Orchla木管五重奏団、ファゴットアンサンブル「ドルチッシモ」メンバー。

ピアノ

倉戸 テル

KURATO Teru



東京芸術大学卒、東京芸術大学大学院修士課程を修了後渡米、ジュリアード音楽院大学院卒業。ソロの活動としてオーケストラとの共演や、ニューヨーク、東京、大阪などで多数のリサイタルを開催している。また、室内楽の分野では数多くの演奏家と共演し絶大な信頼を得ている。特にチェロ奏者藤原真理氏との共演回数は200回を超える。現在、宮城教育大学教授。

ピアノ

庄司 美知子

SHOJI Michiko



桐朋学園大学音楽学部演奏学科卒業。ピアノ教育にも意欲的に携わりヨーロッパ、アメリカ、韓国など各地の音楽祭から招聘を受け演奏やマスタークラス、公開講座講師、審査委員などを行っている。仙台中央音楽センター主宰。桐朋学園仙台教室講師。ピアノフォーラムin 仙台主宰。2011年6月より「被災地へピアノをとどける会」実行委員長として活動を続け、これまで500台以上のピアノを届けた。

ヴァイオリン

郷古 廉

GOKU Suiro



2013年ティボール・ヴァルガシオン国際ヴァイオリン・コンクール優勝。国内外で最も注目される若手ヴァイオリニストのひとり。勅使河原真実、ゲルハルト・ボッセ、辰日明子、パヴェル・ヴェルニコフの各氏に師事。使用楽器は1682年製アントニオ・ストラディヴァリ(BANA)。個人の所有者の厚意により貸与される。2019年第29回出光音楽賞受賞。

チェロ

三宅 進

MIVAKE Susumu



桐朋学園大学卒業及び研究科修了後、インディアナ大学アーティスト・ディプロマコースに入学。帰国後、新ヴィヴァルディ合奏団、群馬交響楽団首席奏者、イン弦楽四重奏団などを経て、現在、仙台フィルハーモニー管弦楽団ソロ首席奏者。木越洋、安田謙一郎、ヤーノシュ・シュタルケルの各氏に師事。武蔵野音楽大学非常勤講師。Music from PaToNaでは音楽監修を務める。

コントラバス

名和 俊

NAWA Shun



京都市立芸術大学音楽学部在学中より国内のプロオーケストラの客演奏者として活動を始め、大学卒業と同時に仙台フィルへ入団。これまでにコントラバスを村上満志、吉田秀、西口勝の各氏に、室内楽を上村昇、四方恭子の各氏に師事。2017年ドイツ・ベルリンへ留学。エディクソン・ルイスのもと研鑽を積む。現在、仙台フィルコントラバス副首席奏者、宮城学院女子大学非常勤講師。